



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 中部電力(株)と浜岡原発をめぐる安全協定を締結しました

7月8日、中部電力浜岡原子力発電所(御前崎市)から半径31km圏内の緊急防護措置区域(UPZ)内にある5市2町と県は、中部電力(株)と安全協定を締結しました。

今回は、協定締結までの経緯と浜岡原発をめぐる基本的な考え方を説明いたします。



UPZ安全協定締結をめぐる協議は、5市2町(島田・藤枝・焼津・袋井・磐田市と吉田・森町)の首長が中電との安全協定の必要性を話し合い、全会一致で協定締結の方針を決定した平成26年2月から始まりました。当初、「1年以内に協定の締結はできる」と、ほとんどの首長が考えていたと思います。なお、安全協定に関わる5市2町の基本的な考え方は、次のとおりです。

- ① 県と御前崎・牧之原・掛川・菊川市(浜岡原発から10km圏内にある地元4市)が結ぶ協定および同解釈書の定めを尊重し、これを前提とする。
- ② UPZ安全協定は、県・地元4市の協定および同解釈書の定めにした内容とし、これを超えない。
- ③ UPZ安全協定による体制は、県・地元4市の協定による体制に連動・連携する。

これを踏まえ5市2町では、県と地元4市が中電と結ぶ①の協定に準じ、「事前了解」の担保を中電側に求

めて協議を続けてきました。「事前了解」とは、中電が原子炉施設の設置や変更などを行う際、事前に地元自治体に通報し協議することをいいます。県と地元4市が中電と結んでいる協定には、この規定がなく、付随の解釈書で実質的な事前了解を担保しています。つまり、昭和56年9月に締結されたこの協定を超えずに、5市2町が実質的な事前了解をどのように担保するかが議論の焦点でした。

島田市の場合、UPZ圏内に総人口の約9割が居住しています。特に初倉・金谷地区の一部は浜岡原発から20km圏内に位置しています。風向きによって被害想定が大きく変わるとはいえ、市民の安全・安心を確実にものとするために、実質的な事前了解を担保することは譲れない一線でした。



初倉地区のスクリーニング訓練

私は、議会などで「浜岡原発の再稼働は認めない」と発言しています。私たち周辺住民の安全が確保されない限り、今後も再稼働を認める考えはございません。浜岡原発に使用済み核燃料が保管され、処理方法の確立もされていない現状では、たとえ稼働していない状況であっても、安全協定の締結は必要なものと判断しました。

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

難病「拡張型心筋症」を患う岩倉花愛ちゃんの米国での心臓移植を実現させるため、私たち「はなちゃんを救う会」は、6月から支援活動を行っています。

生後6カ月の岩倉花愛ちゃん(牧之原市)は、現在、補助人工心臓を付けて命をつないでいますが、合併症と隣り合わせの綱渡りの状態です。唯一の治療方法とされる心臓移植には、約3.1億円が必要なため、市内で街頭募金活動や募金箱設置の協力をお願いしています。

小さな命には一刻の猶予もありません。この状況をご理解の上、ご支援ご協力をお願いします。(志水義秀さん:本通三丁目)

㊟はなちゃんを救う会事務局 ☎ 0548-27-1226



母親に笑顔を見せる花愛ちゃん